

---

九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 12 月 7 日 第 372 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 12 月 21 日（木）です。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

- ・石井国土交通大臣が佐世保港、九州新幹線西九州ルートの嬉野温泉（仮称）駅・武雄温泉駅等を視察
- ・人吉・球磨地域で地域公共交通活性化に関する講演会・意見交換会を開催しました ～地域公共交通再編実施計画」の作成に向けて意識を共有～
- ・水産大学校 新造船「天鷹丸」の竣工披露式挙行される ～次世代船員の人材育成にむけて～
- ・宮川小学校（鹿児島市）の 5 年生に海事産業見学会を開催しました ～フェリー、倉庫、造船所など普段目にしない現場を見学～
- ・船舶の火災を最小限で防ぐ ～フェリーでの火災を想定した実践的な消火訓練の実施～

### 2 お知らせ

- ・広報誌「国土交通」No. 147（2017. 12～2018. 1）
- ・「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します ～輸送機関等における事故やテロの防止対策実施状況等の点検～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

---

## 1 現場レポート

◆石井国土交通大臣が佐世保港、九州新幹線西九州ルートの嬉野温泉（仮称）駅・武雄温泉駅等を視察

◎石井大臣は、12 月 2 日（土）、長崎県及び佐賀県を訪れ、長崎県内で佐世保港を、佐賀県内では九州新幹線西九州ルートの嬉野温泉（仮称）駅、武雄温泉駅等を視察しました。

### ◇内容

国際旅客船拠点形成港湾に指定されている佐世保港では、クルーズ船専用岸壁等の整備が行われる浦頭地区の計画地や、16 万トン級のクルーズ船対応が進められている三浦地区のクルーズ船受入状況を視察し、九州新幹線西九州ルートでは嬉野温泉（仮称）駅・武雄温泉駅の整備状況や駅周辺のまちづくりの進捗状況を視察しました。また、特急「ハウステンボス号」に乗りし、佐世保線・長崎本線の武雄温泉・佐賀間の状況を視察しました。

### ◇石井大臣コメント

九州新幹線西九州ルートの新野温泉(仮称)駅、武雄温泉駅の現場視察を通して、平成 34 年度開業に向けて着実に工事が進捗していること、新幹線駅周辺のまちづくりが着実に進んでいることを確認しました。また特急ハウステンボス号車内から、佐世保線・長崎本線の武雄温泉・佐賀間の現状を確認しました。

今回の視察を通じて、地域の活性化に向けて、交通インフラが重要な役割を果たすことを実感しました。国土交通省としては、引き続き、必要なインフラ整備等にしっかりと取り組んで参ります。

◇大臣視察の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_1.pdf)

---

◆人吉・球磨地域で地域公共交通活性化に関する講演会・意見交換会を開催しました

～地域公共交通再編実施計画<sup>※1</sup>の作成に向けて意識を共有～

◎熊本運輸支局では、11月14日に中小企業大学校人吉校(熊本県人吉市)において、人吉・球磨地域の各市町村の公共交通担当者、交通事業者を対象に「人吉・球磨地域で地域公共交通活性化に関する講演会・意見交換会」を開催しました。

◇概要

人吉・球磨地域の10市町村では、地域の公共交通を活性化・維持していくため、平成28年3月に市町村、交通事業者、住民等による協働で広域の「地域公共交通網形成計画<sup>※2</sup>」を作成しました。現在、「地域公共交通再編実施計画」を作成するため、関係者による協議が進められており、熊本運輸支局もそこに参画し計画策定のための後押しをしているところです。

その一環として国土交通省総合政策局より金子交通計画課長を講師として招き、『地域公共交通活性化に関する講演会・意見交換会』を開催しました。講演会・意見交換会には人吉・球磨地域の各市町村の公共交通担当者、交通事業者30人が参加し、公共交通の重要性・課題を再認識するとともに「地域公共交通再編実施計画」の作成へ向けて意識の共有を図りました。

※1 地域公共交通再編実施計画・・・「地域公共交通網形成計画」(マスタープラン)で示された「あり方」を実現化していくためのアクションプラン

※2 地域公共交通網形成計画・・・地域が目指す将来像を踏まえた地域公共交通の「あり方」を示すマスタープラン

◇熊本運輸支局からのメッセージ

地域公共交通を活性化・維持していくためには、市町村、交通事業者、地域住民(利用者)、国それぞれが自らの役割をしっかりと自覚し、実行力を高めていくことが重要です。

今回は市町村、交通事業者を対象とした講演会でしたが、熊本運輸支局では、引き続き市町村、交通事業者、地域住民(利用者)の意識向上を図っていく取り組みを展開していきます。

◇講演会・意見交換会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_2.pdf)

---

◆水産大学校 新造船「天鷹丸」の竣工披露式挙行される

～次世代船員の人材育成にむけて～

◎11月10日（金）、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校（下関市）の新造船「天鷹丸」（995ト）の竣工披露式が下関市のあるかぼーとにおいて開催されました。

◇内容

竣工披露式には、来賓として山口水産庁次長、矢尾山口県下関水産振興局長、芳田下関副市長等が出席、九州運輸局からも高杉運輸局次長、衣川下関海事事務所所長が出席し、総勢約180人の参加がありました。

水産大学校は、三級海技士航海及び機関の船舶職員養成機関※でもあり、練習船として「天鷹丸」と僚船の「耕洋丸」（2,352ト）の2隻を擁し、これまでわが国海運界にも数多く船員を輩出しています。

この度竣工した「天鷹丸」は四代目にあたり、32年間従事した三代目「天鷹丸」（716ト）の代替船として三菱重工業(株)下関造船所で建造され、教育・乗船実習機能の他、海洋環境や資源・生物生態などを調査する調査船としての機能も備える練習船として最新鋭の機器が搭載されています。

11月17日（金）には、専攻科の学生45人（航海科26人、機関科19人）が乗船し処女航海に出港しました。下関を出て新潟・横浜に寄港し、下関に12月12日に帰港する予定であり、最新鋭の練習船の就航により学生の教育・実習訓練がより充実したものとなることが期待されています。

※船舶職員養成機関とは、船舶を運航する船舶職員として従事するための資格である海技士免許を取得するために教育・乗船実習を行う国土交通大臣が登録した教育機関で、船舶職員養成課程を修了すると海技士国家試験において筆記試験の免除が与えられます。

◇九州運輸局からのメッセージ

今回竣工した「天鷹丸」は最新の機器・装備を要する新鋭船であり、次世代船員の人材育成のための練習船として引き続きわが国の海運界に寄与されるとともに航海の安全を祈念致します。

（海上安全環境部 海技資格課）

◇「竣工披露式」の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_3.pdf)

---

◆宮川小学校（鹿児島市）の5年生に海事産業見学会を開催しました

～フェリー、倉庫、造船所など普段目にしない現場を見学～

◎鹿児島運輸支局は、海に関わる職場への関心を高めてもらうことを目的として、11月8日（水）に鹿児島市立宮川小学校の5年生68人に海事産業見学会を開催しました。

【見学会の行程】

①海事教室

- ②マルエーフェリー(株) 「フェリー波之上」
- ③九州共同(株) 定温倉庫及びトランクルーム
- ④鹿児島ドック鉄工(株) 造船所

◇内容

- ・鹿児島～沖縄航路に就航する「フェリー波之上」のブリッジ、船員の居住区、客室などを見学。また、全員が救命胴衣を実際に着用しました。
- ・営業倉庫では、石倉の倉庫に定温で保管された米や美術品等が保管されたトランクルームを見学しました。
- ・造船所では、最新のフローティングドックに入り、間近で船を見ることが出来ました。

◇鹿児島運輸支局からのメッセージ

- ・子供達は、メモのページが足りなくなるほど熱心に担当者の説明を書きとめていました。質問も多く、海事産業の重要性は十分に伝わったと思います。
- ・アンケートのなかに、「フェリーの操縦室を見て、僕は頑張って船長になりたいと思いました」と答えた児童がいました。子供達に将来の職業として認識されたことが分かり、うれしく思いました。
- ・鹿児島運輸支局では、子供達だけではなく、先生を対象とした見学会も実施しています。今後も海への興味・関心を高める取り組みを進め、海事産業の人材育成に努めていきたいと考えています。

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_4.pdf)

---

◆船舶の火災を最小限で防ぐ

～フェリーでの火災を想定した実践的な消火訓練の実施～

◎九州運輸局は管内各地で消防署等の関係機関と連携してフェリーでの火災を想定した実践的な消火訓練を実施しました。

◇概要

- ・平成 27 年のフェリーで発生した火災事故を受けて国土交通省は消火訓練のための手引き書をまとめました。
- ・九州運輸局は手引書を活用し事業者には火災対策を講じさせるべく指導を行っています。
- ・指導等の一環として管内各地で旅客船協会、消防署、フェリー会社が連携して放水等を伴う実践的な訓練を実施しました。

◇内容

- ・関係機関と連携した実践的な消火訓練は管内 9 カ所 10 回実施。
- ・火災に関する知識や旅客の避難誘導といった座学、実際に消火器や消火ホースを使った消防訓練を実施（九州運輸局 本局、福岡運輸支局、若松海事事務所、佐賀運輸支局、熊本運輸支局）
- ・火災に関する知識や旅客の避難誘導といった座学や消火器を使った消防訓練を実施（長崎運輸支局、佐世保海事事務所）
- ・海上保安署、消防署、事業者が協力した消防訓練（熊本運輸支局）

・事業者と関係消防署が連携した消防訓練（大分運輸支局、宮崎運輸支局、下関海事事務所）

◇九州運輸局からのメッセージ

・九州運輸局は事業者がこれからも安全運航を続けられるよう火災対策を含む有事における迅速な対応などの安全管理体制構築に向けた取組を支援していきます。  
（海上安全環境部 運航労務監理官）

◇消防訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_5.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_5.pdf)

福岡運輸支局、若松海事事務所の合同消防訓練の様子（既報：第371号）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_371\\_7.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_371_7.pdf)

---

## 2 お知らせ

◆広報誌「国土交通」No.147（2017.12-2018.1）

<特集>世界と戦う 船造り ～海事生産性革命（i-Shipping）の推進～

◇こちらのURLからご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html>

---

◆「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します  
～輸送機関等における事故やテロの防止対策実施状況等の点検～

九州運輸局では、平成29年12月10日（日）～平成30年1月10日（水）にかけて、年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施します。

この取組みは、交通機関等に人流・物流が集中する年末年始に事故等が発生すると大きな被害になることが予想されることから、各輸送機関が安全対策の実施状況等を自主点検することにより公共交通の安全・安心の確保を図ることを目的に実施しています。

具体的には、管内の鉄軌道交通、自動車交通、海上交通、利用運送、バス・トラックターミナルや自動車道等の事業者に対し、安全管理・安全対策等の実施状況、関係法令等の遵守状況、施設等の点検整備状況、テロ対策及び新型インフルエンザ対策の実施状況等の自主点検を依頼します。

また、期間中に以下のとおり本局、各運輸支局・海事事務所において事業者への立入り点検を実施することとしています。

○事業者への立入り点検

・鉄軌道索道関係 10社（11ヶ所）、自動車関係 19社、船舶関係 71社（85隻）、トラックターミナル 2社

○自動車の街頭検査 8回

詳細については九州運輸局のホームページをご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/a\\_soutenken.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/a_soutenken.htm)

（総務部 安全防災・危機管理調整官）

報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部日より //////////////////////////////////////  
今年もいよいよ残すところ一月を切りました。坊主も走り回るほど忙しいといわれる師走に入って何かと用事も多く気ぜわしい時期ですが、年末に向け早めに予定を立てて段取りよくすませたいものです。1日には厚労省がインフルエンザの流行シーズンに入ったと発表、新聞によれば福岡市でも5日の時点で14校・園が学級閉鎖しており、大分でも患者数が急増しているそうです。また、5日には九州各地で初雪が観測されるなど今月に入って一段と寒さも厳しくなっており、この時期、内臓にも頑張ってもらう機会が増えますので健康管理には十分気をつけたいものです。

◎季節の写真

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_372\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_372_6.pdf)

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

Mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192